

電源開発株式会社  
取締役社長 北村雅良 様

## 大間原発建設再開を即刻中止することを要請します。

貴社は10月 1 日から大間原発の建設再開を始めています。それは、政府の「中断している原発建設については、企業責任で再開しても良い」という指示を受けたからだと思いますが、企業は一体どんな責任をとれるのでしょうか。

福島原発事故は未だ収束しておらず、依然危険な状態です。その収束作業にあたっている原発労働者は日々被曝に曝され、死と隣り合わせで仕事をしています。そして、放射線量の高い中で子どもは被ばくし、健康が脅かされています。にもかかわらず子どもの集団疎開や避難が一向に行われていません。原発事故の影響は福島のみならず広範囲に及び、生業、財産を奪われた人々の生活再建、生活保障が未だにきちんと行われていません。汚染された故郷に再び帰ることができない人もいます。その責任を一体だれが取ったのでしょうか。原発事故の被害は筆舌に尽くしがたいものです。このような現状で、大間原発の建設再開は絶対容認できません。

しかも、大間原発は世界で初めてのフル MOX 原発です。フル MOX 燃料にはプルトニウムの量が約 6.5 トンも装荷されるという超危険な、世界に例を見ない原子炉です。長崎原爆の 550 発以上に相当するとも言われ、緊急時、運転制御の困難性や放射性毒性の過酷さなどについて指摘されています。しかし、大間原発ではそれらの備えがなく、防潮堤も事故対策のオフサイトセンターもありません。また、活断層の存在も指摘されています。東洋大教授の渡辺満久氏は大間原発敷地内の活断層の可能性を指摘し、独立行政法人・産業技術総合研究所と東海大チームも、大間南西にも14キロの活断層があることを発表しました。この活断層「平館海峡撓曲」について貴社は把握していません。これらの活断層では地震の規模はマグニチュード 7 近くになると推定されると言われており、調査を要求します。事故が起きてから「想定外だった」では手遅れです。まだ 38%の進捗状況で、原子炉が入っていない大間原発は、今止めるなら間に合います。福島事故を二度と繰り返さないためにも、貴社が大間原発建設再開を即刻中止するように要請します。そして原発に頼らないエネルギー、自然エネルギーへシフトすべきです。

2012年10月15日

東京都豊島区池袋本町2-6-3  
緑の党 党首 對馬テツ子